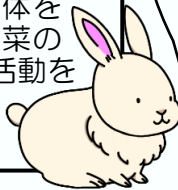


うさぎ組での生活が始まり、早くも1か月が経ちました。ピンクのマークや帽子、保育室のおもちゃやランチルームでの食事など全てのことが新鮮で、喜びを持って意欲的に取り組んでいる子どもたちです。まだ手助けが必要な場面も多くありますが、子どもの気持ちを大切にしながら丁寧に関わっていきたいと思います。

今、うさぎ組ではこいのぼり制作に取り組んでいます。うさぎ組の保育室から至近距離で見えるこいのぼりをとても喜んでいて、「あ！おとうさんのこいのぼりみえた！」「めっちゃおよいでる〜！！」と、こいのぼりへの関心を高めている子どもたち。自分だけのクレパスとはさみを使って、好きな色の画用紙に好きな色で模様を描いたり、いろいろな柄の折り紙を切っておしゃれなウロコを作ったりして、それぞれの表現を楽しんでいます。

5月は季節が少しずつ春から初夏へと移り変わっていきます。暖かい春の陽気の中、嬉しい自分の水筒を使いながら元気に体を動かして遊びたいと思います。また、今月は春の遠足や夏野菜の栽培など、季節を感じる行事を計画しています。それぞれの活動を通して、子どもたちが自然の中での気付きや発見を楽しみながら、「やってみたい！」という気持ちを広げていきたいと思います。



うさぎ組になり、外遊び時の水遊びデビューを果たした子どもたち。

Aくん「ここ池にしょっか！」
Bくん「じゃあ、お水とりにいこ！」と、水を汲みに行った2人。

いっこうに砂場に帰って来ず、園庭を見回してみると…

「♪さいた〜 さいた〜
チューリップの はなが〜♪」と2人で歌いながら鉢植えに水やりをしていました。きれいな花に心を奪われた子どもたちでした。

黄緑色の帽子が嬉しくて、思わず鏡を見に行ったらあの日から1か月が経ちました。「こんなことお願いできるかな？」「ちょっと難しいこと言うよ？」と声をかけても「大丈夫！」「できるよ！」と、とってもやる気いっぱいのひつじ組です。日々の生活の中でも椅子を友だちと順番に4つずつ重ねて片付けることやベッドを並べることなど、自分のできることを進んでしようとする姿がたくさん見られ頼もしいです。集団ゲームも大好きで、「今日もやりたいな」「もう一回やろう」と心から楽しんでいます。友だちと同じルールで遊ぶ中で、悔しさを感じたり喜びを共有したりしながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じています。楽しさを共感し合う中で友だちと気持ちがぶつかることや、自分の気持ちを言葉で伝えること、また、友だちの気持ちに気づく思いやりの心も大切にしていきたいと思います。

4月はこいのぼり制作も楽しみ、初めて自分ののりを使う喜びを感じていました。使用後、蓋をしっかりと閉めると“パチッ”と音が鳴ることを伝えると、片付けの時に目を輝かせて、「今、音なったよ！」と小さな音に耳を澄ませるかわいい子どもたちです。

5月も気持ちのよい新緑の中、いろいろな集団ゲームやごっこ遊びを楽しみ、友だちとのやりとりをどんどん深めていきたいと思っています。



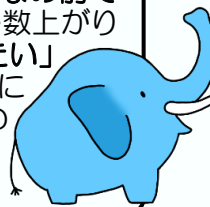
歌をうたうことも大好きなひつじ組！毎日、歌の時間になると、リクエストもいっぱいです！中でも最近のお気に入りには・・・

Aくん「あの歌うたいたい！ビビンバ！」
Bちゃん「ひひひ(笑)ビビンバ！じゃないよ！
ビビンビンだよ」

“お豆戦隊ビビンビン”と給食の大人気メニューのビビンバと言葉が似ていて子どもたちの表現が楽しいです。歌が始まると踊らずにはいられないひつじ組です。苦手なお豆も「ビビンビンだねー」と言うopakくって食べてくれますよ！！

進級から1か月が経ちました。水色の帽子に変身した子どもたちは初日からページェントごっこを始めたり、「体育遊びもやるんでしょ？」「お泊まり保育行くの楽しみ！」とぞう組になったらできることをワクワクした気持ちで担任に伝えたりと、張り切って過ごしていました。大学の森では、桜の木や草花の生長の様子をみんな観察しました。新しく出てきた芽が生長していく様子を見て、「前と違うよ！こんなに大きくなるの！？」「地面の側にも芽が出てるよ！」「大学の森はタンポポの綿毛ないけど、僕の家の方にはあったよ。なんでだろう？」と神さまがくださった春の自然に触れ、その不思議さに心動かされている日々です。5月には夏野菜の苗植えや花の種まき、ひつじ組の時に植えた、いちごの収穫も予定しています。こうした植物が生長していく過程で見た自然のすばらしさを心で感じ、神さまの恵みにも一緒に目を向けながら過ごしていきたいと思っています。

また、今月はクラス全体でごっこ遊びをしようと計画しています。どんな活動にしたいか、みんなて話し合ったところ、「アイドルみたいなコンサートごっこがやりたい！」「ダンスが好きだからみんなの前でやってみよう！」「小さい子と手遊びもしたい」という声が多数上がりました。また、具体的な話し合いをする中でも、「衣装を着たい」「お土産も作ろう」「応援グッズもいるんじゃない」と意欲的に意見を伝える姿も見られ、やる気を感じています。子どもたちの“やってみたい”気持ちを大切にしながら進めていきたいと思っています。



ある日、大学の森で遊んでいた時のことです。

Aくん「先生、昨日見たエンドウ豆と一緒にいたいなお豆見つけたよ」

保育者「カラスノエンドウだね」

Bちゃん「ねえ、このお豆、センターに植えたらいっぱいできるんじゃない？」

Aくん「やってみようか！

先生、持って帰って植えるね」

好奇心旺盛な子どもたちの表情と言葉にパワーをもらったひと時でした。